

第23回ゼロ災活動発表会

平成25年2月22日、第23回ゼロ災活動発表会を開催し、平成24年度のゼロ災活動の総括を行いました。今回はその中から改善提案部門で優秀賞を受賞した『瞬時電圧低下による停電表示の改善』（技術課／高田社員）について報告します。

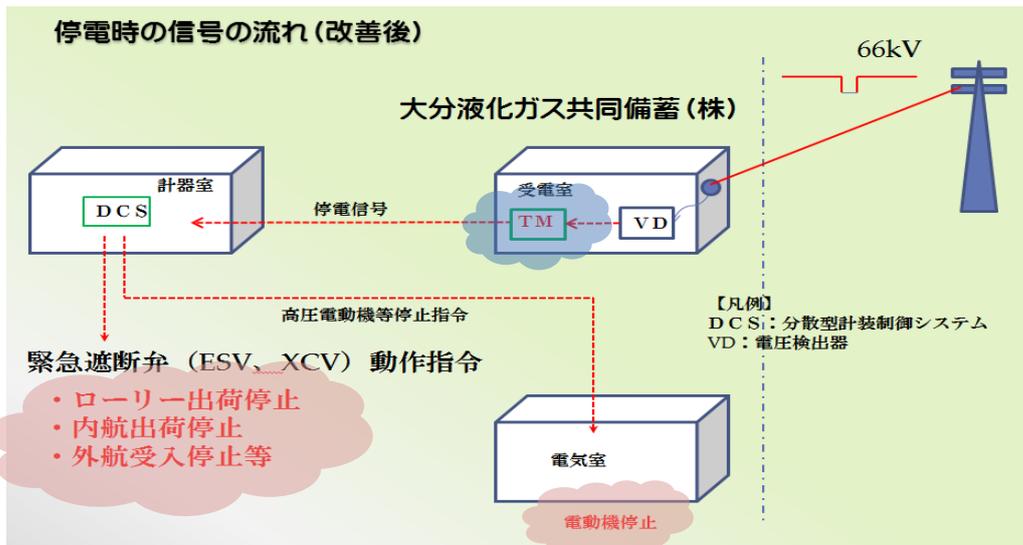
改善提案『瞬時電圧低下による停電表示の改善』

1. 問題点

停電など受信電力の異常を検出した場合、出荷ポンプをはじめとする運転中の設備機器は強制停止するよう分散計装システム（DCS）で制御されている。雷による瞬停にも同じように制御が働き、瞬停が出荷作業中に発生すると出荷の中断に繋がる。

2. 提案

電圧検出器とDCSの間にタイマーを設置して、設備機器の正常動作に影響しない1秒未満の瞬停時にはDCSに停電信号を伝えないようにする。



3. 改善効果

(効果)

- ・雷による入出荷作業の中断が防げる
- ・中断した作業、設備機器の復旧作業が不要になる
- ・設備機器の停止・再起動によるストレスを軽減できる

(投資)

- ・タイマー設置 10万円

(雷による機器停止実績、2011年=3回、2012年=0回)

以上



(左) 大分労働基準監督署の安全専門官による講話 (右) 大西所長から表彰を受ける高田社員

ご安全に！

(安全係長 藤澤義男)